

131号建物他空調機等更新工事

業務隊長		管理科長		営繕班長		管財		施設管理				担当者	
													
件名		1 3 1 号建物他空調機等更新工事							図番		1 / 8		
図名		表紙							縮尺		—		
陸上自衛隊駒門駐屯地業務隊									5 . 5 . 9				

特 記 仕 様 書

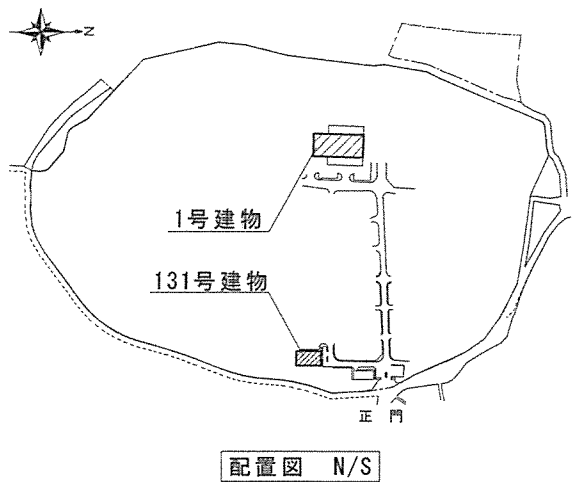
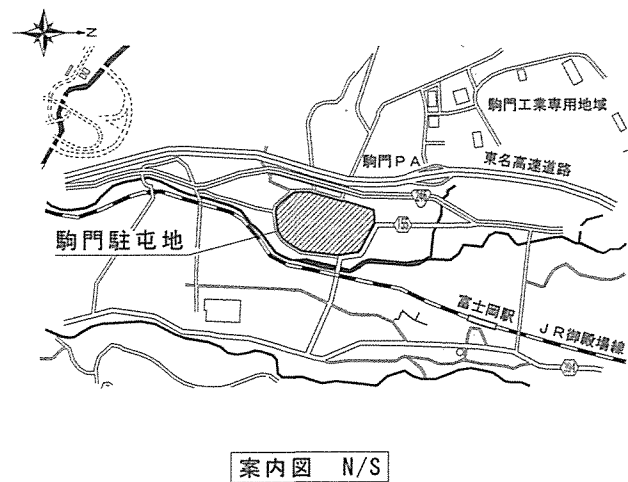
- 1工 事 名
- 1 3 1 号建物他空調機等更新工事
- 2工 事 場 所
- 静岡県御殿場市駒門 5－1 陸上自衛隊駒門駐屯地 1 3 1 号建物および1号建物
- 3工 事 概 要
- 1 3 1 号建物：チリングユニット1台、エアハンドリングユニット1台、ファンコイルユニット1台
その他付帯設備一式 撤去・更新
機械室内鋼製両開き戸 撤去・更新
1号建物：パッケージ型空調機（室外機1台、室内機5台）撤去・更新
- 4作 業 期 間
- 作業時間は8時30分から17時までとし、土曜日、日曜日及び祝祭日の作業は原則として実施しないものとする。ただし、やむをえない場合は監督官と調整のうえ実施するものとする。
- 5一 般 仕 様
- （1）一般事項
- ア 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定公共建築工事標準仕様書及び改修工事標準仕様書による。
- イ 図面と特記仕様書との内容に相違又は明示なき場合、疑義が生じた場合には、監督官と協議を行い指示に従うこと。
- ウ 工事施工に際し、現場の納まり及び取り合わせ等の関係で位置又は工法を多少変え、それぞれによる数量を幾分増減する等の軽微な変更及び技術的に当然施工すべき事項が発生した場合は、監督官の指示に従い施工するものとする。
- エ 本工事に必要な工具類及び消耗部品は、請負者の負担とするものとする。
- オ 請負者は駐屯地内で工事を行う場合、区域への立ち入り及び行動（出入門手続・火気取扱い・工事用通行路等）は、駐屯地の規則及び関係者の指示を厳守して行うものとし、工事施工場所以外への立入りを禁止する。
- カ 本工事で発生した発生材のうち金属類については、計量をしたうえで発生材調書を監督官へ提出した後、監督官の指示する場所に集積する。その他は全て廃棄物の処理及び清掃に関する法令に基づき処理すること。なお、その結果を書面（産業廃棄物管理票E票等の写し）にて提出すること。
- キ 工事に必要とする電気及び水は、原則として使用しないものとし、やむを得ず使用する場合は有料とし、事前に諸手続きを行うこと。
- （2）現場管理
- ア 請負者は、本工事を施工するために下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を作成し、監督官に提出すること。
- イ 現場における火災予防、安全衛生並びに在来施設等の保護には、十分注意を払うものとし、一切の責任は請負者が負うものとする。万一、災害及び事故が発生した場合には、速やかに監督官に報告するとともに、その指示に従うものとする。また、第三者等に損害を与えた場合は、請負者の責任において補償するものとする。
- ウ 機器撤去・据付の際、適切な養生を行うとともに、完成に際しては当該工事に関する部分の適切な後片づけ及び清掃を行うものとする。
- （3）材料検査
- ア 工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とすること。なお、特記なきものについては、J I S等規格品とする。
- イ 材料の色、柄等については、監督官の指示によるものとし、使用材料等の見本は必要に応じ監督官に提出・承認を得るものとする。

- ウ 現場に搬入した材料は、その種別ごとに、品質、数量について監督官の検査を受けるものとする。ただし、工場組立等のためにあらかじめ監督官の承諾を受けた場合は、この限りでないものとする。なお、搬入した材料は、工事で使用するまでの間に変質等なきよう、適切に保管するものとする。
- エ 材料検査結果並びに長期保管等による変質等により工事に使用することが適当でないと監督官が判断したものについては、直ちに新品と交換し、再度検査を受けるものとする。

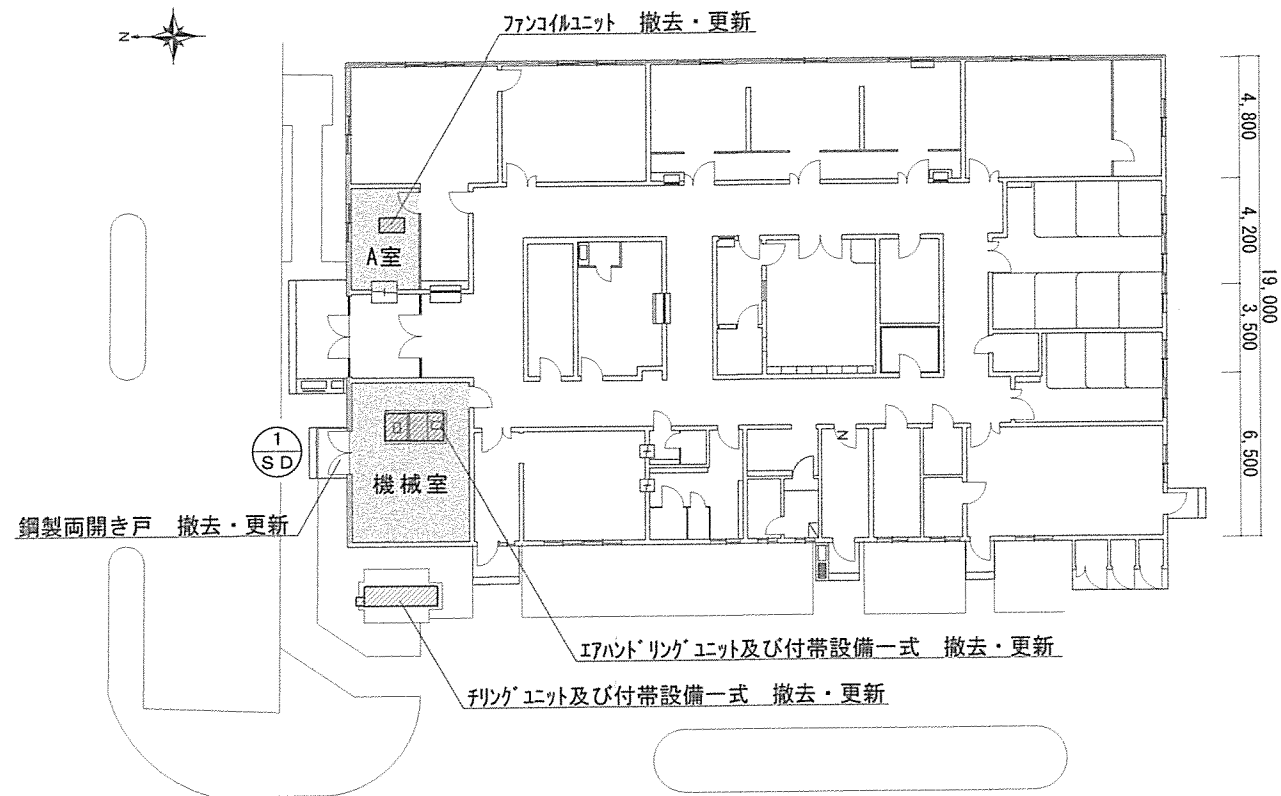
- （4）関係書類
- ア 契約後速やかに作業実施日を監督官と調整し工程表等を提出して承認を受けるものとする。また、その他工事に必要な申請及び提出書類は監督官の示す規格様式で作成し必要部数提出すること。
- イ 工事写真撮影は請負者が実施するものとし、着手前の状況、各施工段階、工事完成及び完成後に明視できない箇所の施工状況並びに材料検収、その他監督官の指示するものを黒板等を使用してサービス版サイズに整理したうえ、提出するものとする。
- ウ 請負者は、契約後10日以内に工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、「工事カルテ」を作成し、（一財）日本建設情報総合センターにWEB登録するとともに、（一財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督官に1部提出すること。

6 特記事項

- （1）アスベスト含有調査
- ア 「大気汚染防止法」及び「石綿障害予防規則」に基づき、当該建築物及び工作物について、事前調査（資料調査及び目視調査）を行い、アスベスト含有の有無を調査すること。
- イ 事前調査によりアスベストを含有する建材の判定ができない場合は、分析調査（JIS A 1481）を行うこと。
- ウ 調査を行った後、次の内容が分かる「調査結果報告書」（様式随意）を作成し、提出すること。
- （ア）調査箇所、調査対象建材及びアスベスト含有の有無
- （イ）調査箇所が分かる図面及び写真
- （ウ）アスベスト含有の有無を判断した根拠
- （エ）分析調査を行った場合は、分析結果
- エ アスベスト含有建材があった場合、湿潤化し、丈夫なビニール袋やシートに囲う等飛散防止の措置を行い官側に引き渡すこと。なお、処分は今回の契約には含まない。
- （2）着工に先立ち、事前に現地を確認すること。また、図面より現地の取り合いを優先すること。
- （3）工事完了後、試運転調整を行い、異常の有無を確認し、試運転調整結果報告書（様式随意）を提出すること。
- （4）フロンガス回収後、関係法令に基づき適切に処理すること。その際、回収及び破壊証明書を提出すること。



件 名	1 3 1 号建物他空調機等更新工事	図 番	2 / 8
図 名	特記仕様書、案内図、配置図	縮 尺	—



131号建物配置平面図 S=1/300

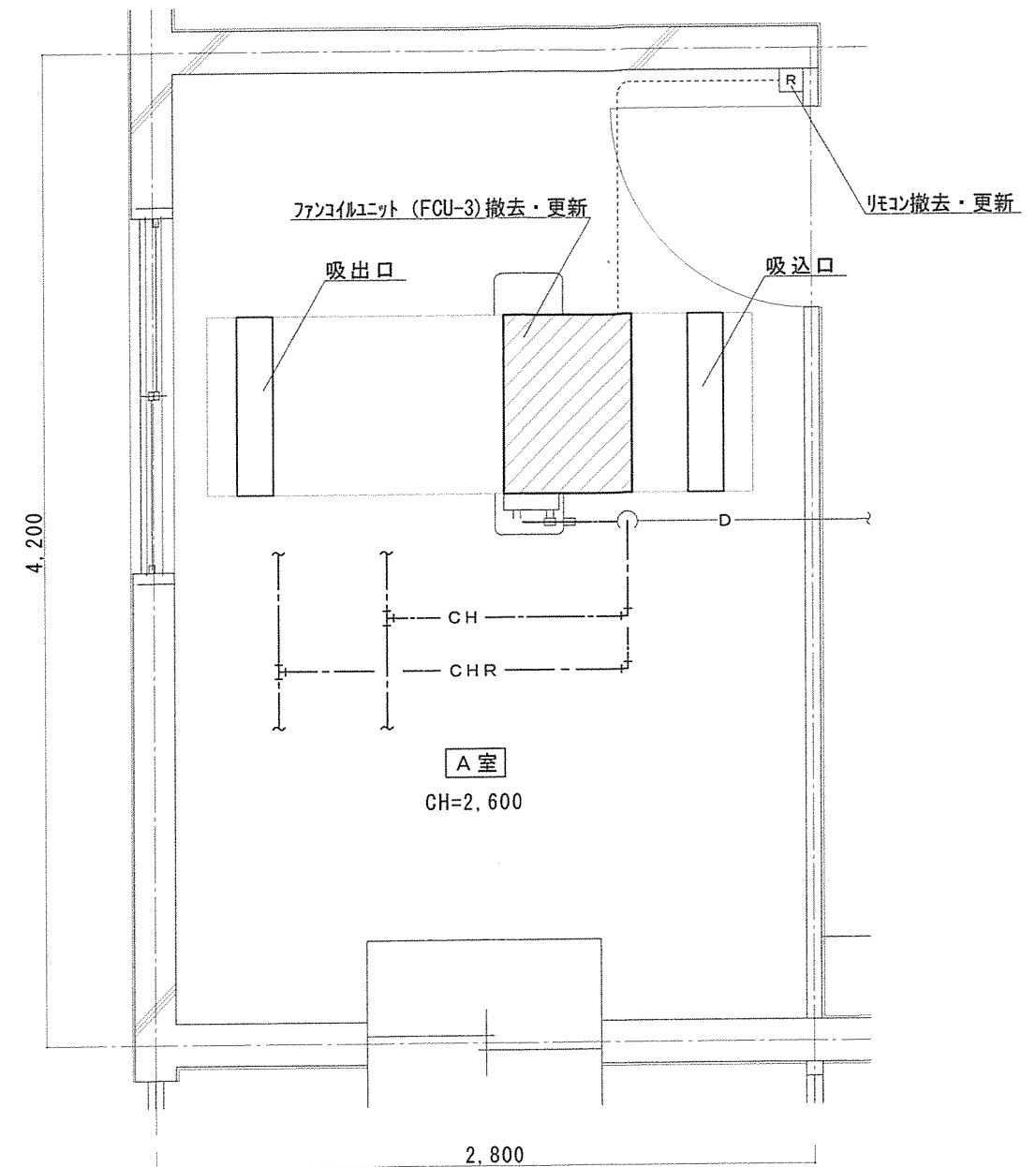
建具表（既設）

符号・名称	$\frac{1}{SD} \times 1$ 両開きスチールフラッシュ戸
姿 図	
材 質	表面処理鋼板 71.6
見 込	ドア40、枠130
金 物	丁番×6、ドアチェック×2、アームストッパー×2 フランス落とし×1、本締め付モノロック×1
仕 上	OP（新設はDP）
そ の 他	FD付スチールガラリ（600×500）2か所

注記事項

三方枠及び沓摺は再使用すること。

錆止塗装（A種）及び仕上塗装（DP、2回塗、1級（JIS K 5659））を行うこと。



A室平面詳細図 S=1/30

交換機器・部品一覧

部 品 名	規格・寸法	単 位	数 量
ファンコイルユニット	既設機器：日立、RF-306C1B 冷房能力：2.4kW、暖房能力：3.6kw （新設参考品番：三菱電機、LH-300WFR-F）	台	1
天井ボード	化粧石膏ボード t9.5	m ²	2.25

注記事項

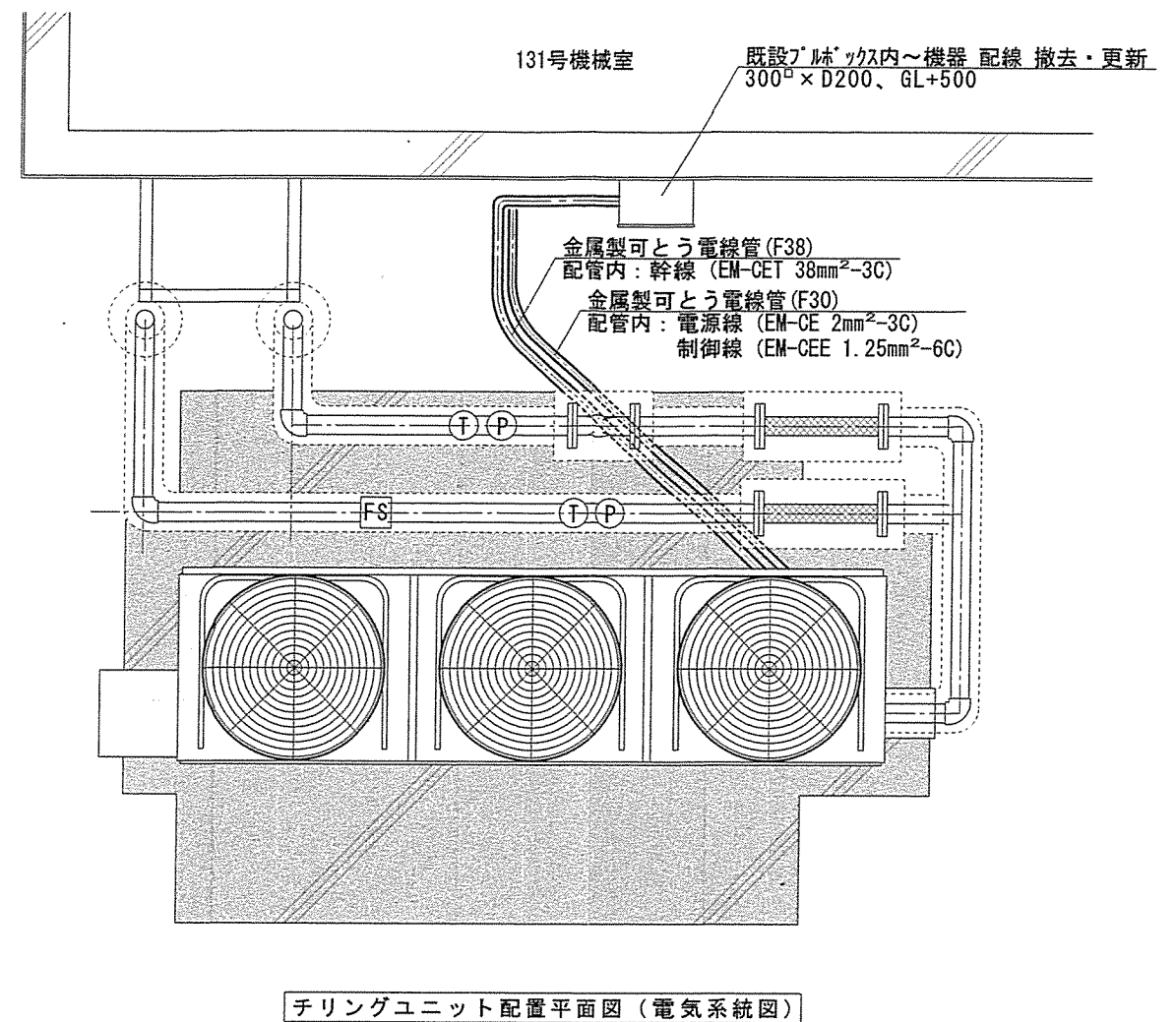
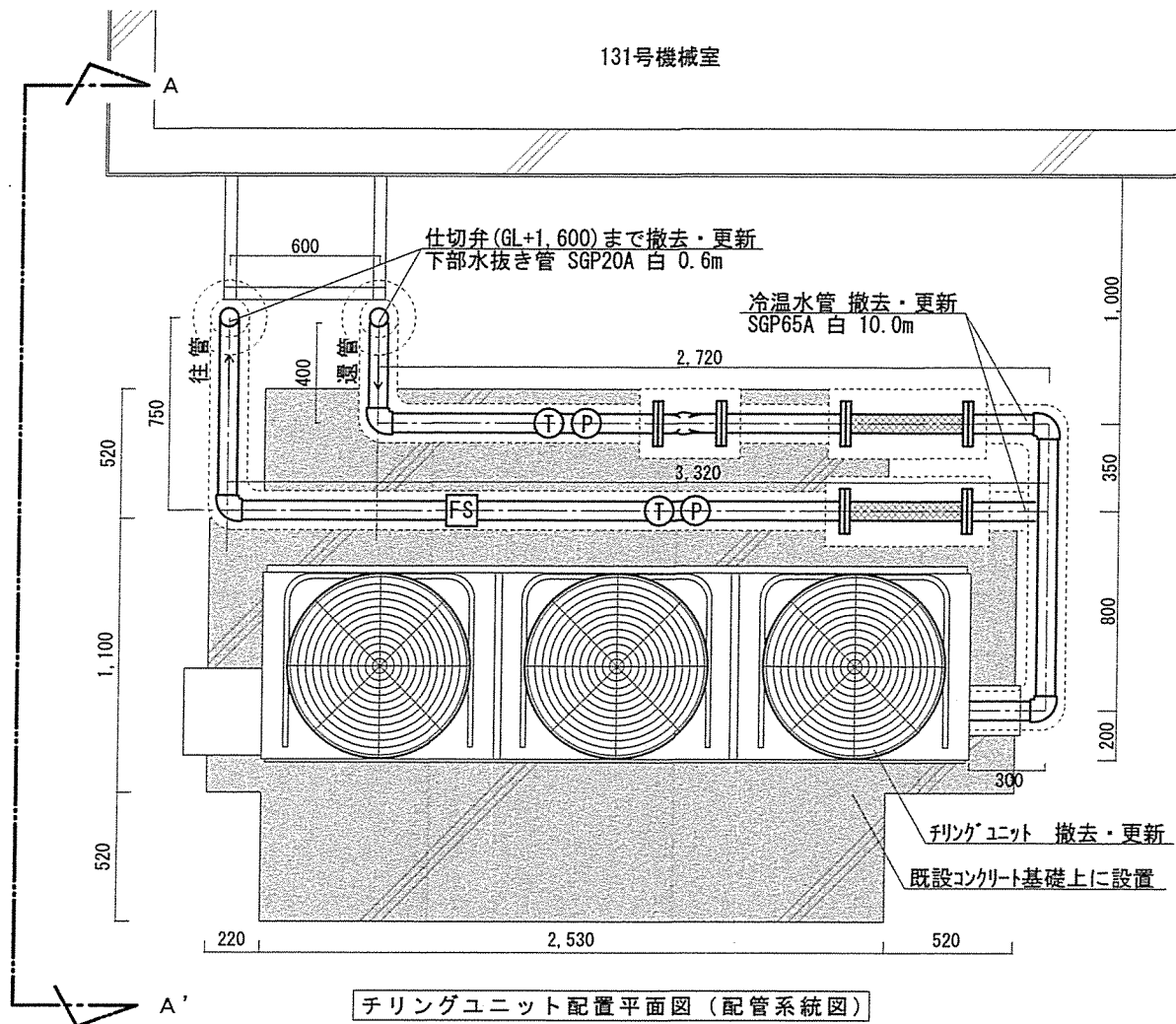
接続部分以外の既設配管は再使用すること。

電気配線は既設のものを再使用すること。

工事着工前に現地をよく調査の上施工を行うこと。

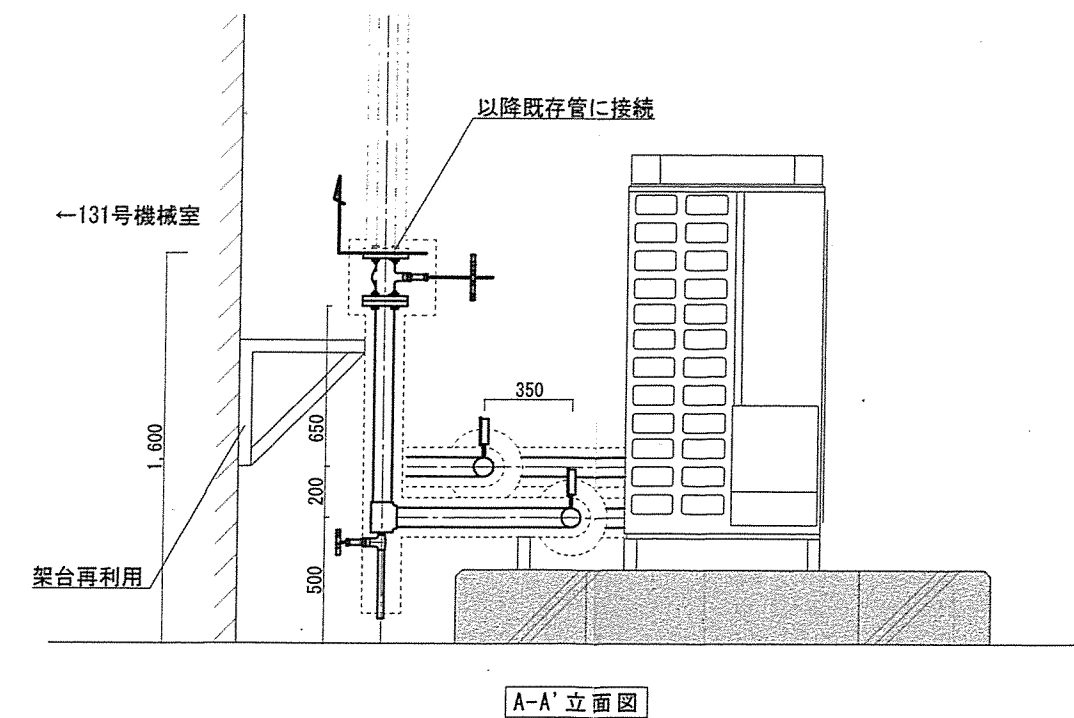
搬出入及び作業に必要な範囲の天井ボードを撤去し、完了後復旧（新設）すること。

件 名	131号建物他空調機等更新工事	図 番	3 / 8
図 名	平面図、建具表、平面詳細図	縮 尺	図 示



交換機器・部品等一覧

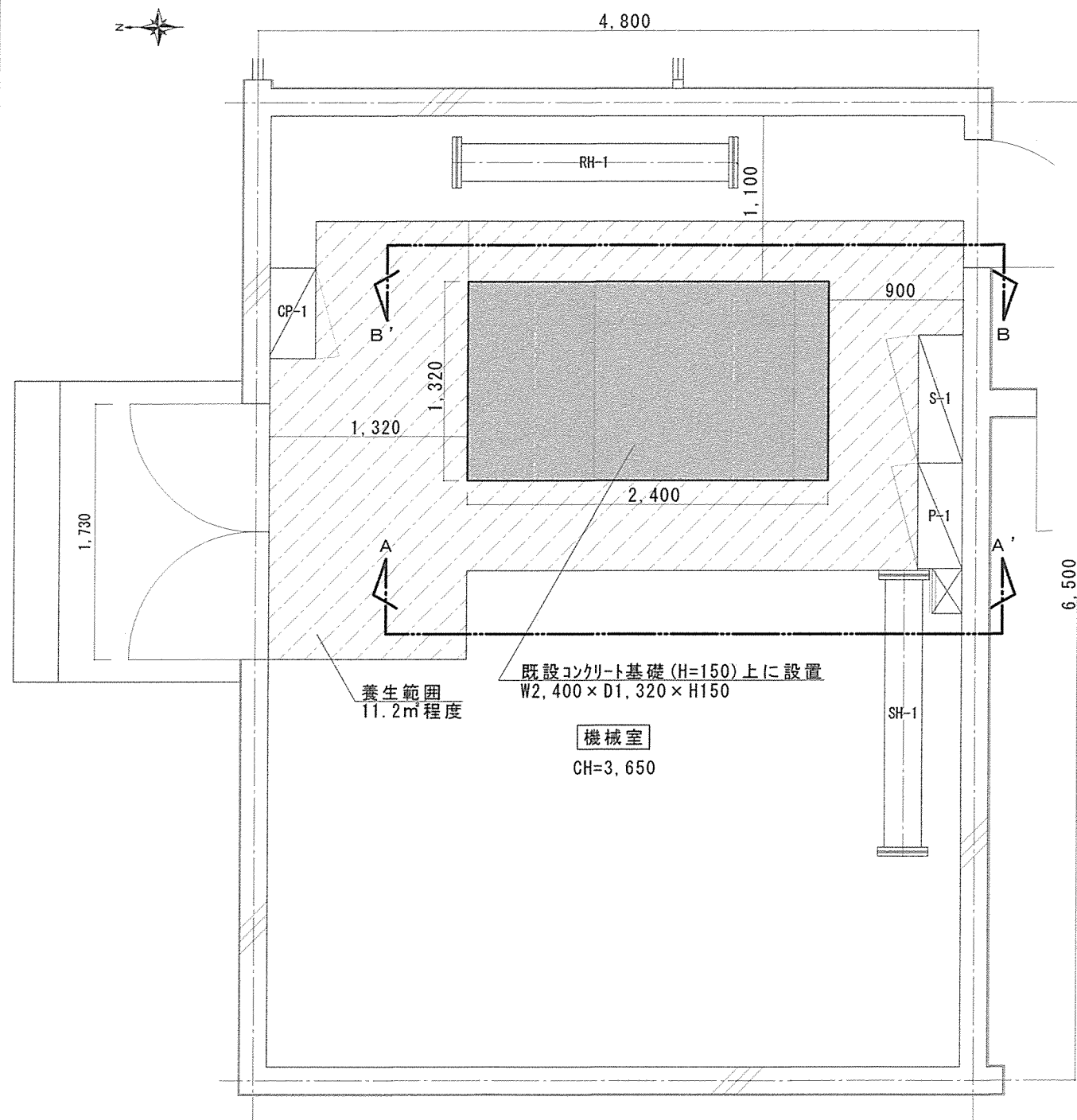
部 品 名	規格・寸法	単 位	数 量
チリングユニット	既設：日立、RCUP750A2B 冷却能力：67.0kW、圧縮機：5.5kW 密閉形×3 冷媒：R407C、機器重量：780kg 新設：RCGP750AV (参考品番) 冷却能力：75.0kW、冷水12→7℃、215l/min 消費22.4kW、3φ200V	台	1
Y形ストレーナー	10K65A フランジ	個	1
仕切弁	10K65A フランジ 外ねじ	個	2
玉形弁	20Aねじ込み	個	2
フレキシブルジョイント	65A L=500mm	個	2
圧力計	100φ 1MPa サイフォン管 ゲージコック付	個	2
温度計	丸型 100φ	個	2
断水保護開閉器 (撤去のみ)	チリングユニット付属品	個	1
フロースイッチ (新設のみ)	FS8-WJ	個	1
冷温水管	SGP65A 白 (保温種別：E ₂ ・(I)・Ⅲ)、SUS鋼板	m	10.0
	SGP20A 白	m	0.6
幹線	600V EM-CET 38mm ² -3C	m	3.0
電源線	600V EM-CE 2mm ² -3C	m	3.0
制御線	EM-CEE 1.25mm ² -6C	m	3.0
金属製可とう電線管	F30	m	3.0
	F38	m	3.0



注記事項

接続部分以外の既設配管は再使用すること。
工事着工前に現地をよく調査の上施工を行うこと。
図面より現地の取り合いを優先すること。

件 名	131号建物他空調機等更新工事	図 番	4 / 8
図 名	配置図、立面図	縮 尺	1 / 30



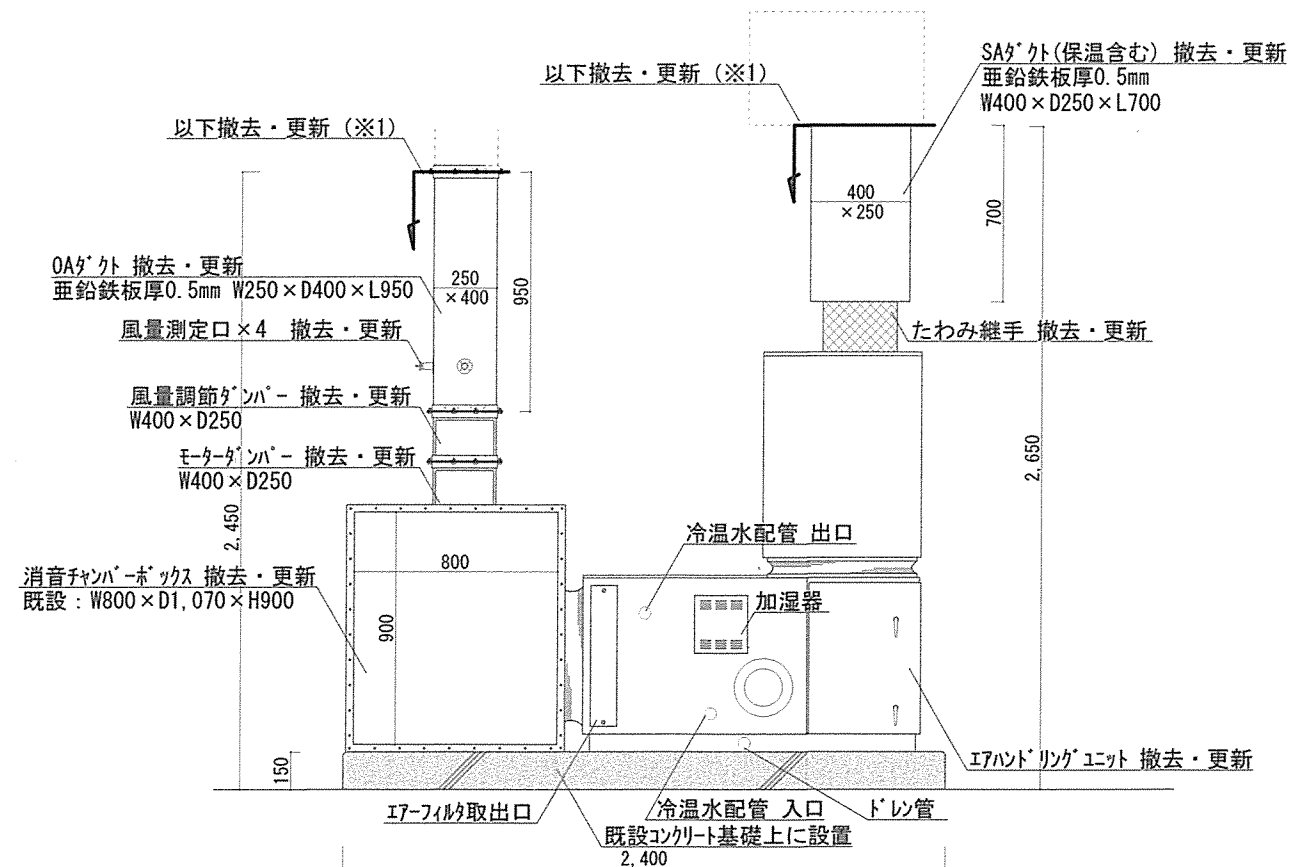
131号建物機械室平面図 S=1/40

注記事項

接続部分以外の既設配管は再使用すること。
 工事着工前に現地をよく調査の上施工を行うこと。
 図面より現地の取り合いを優先すること。

交換機器・部品一覧

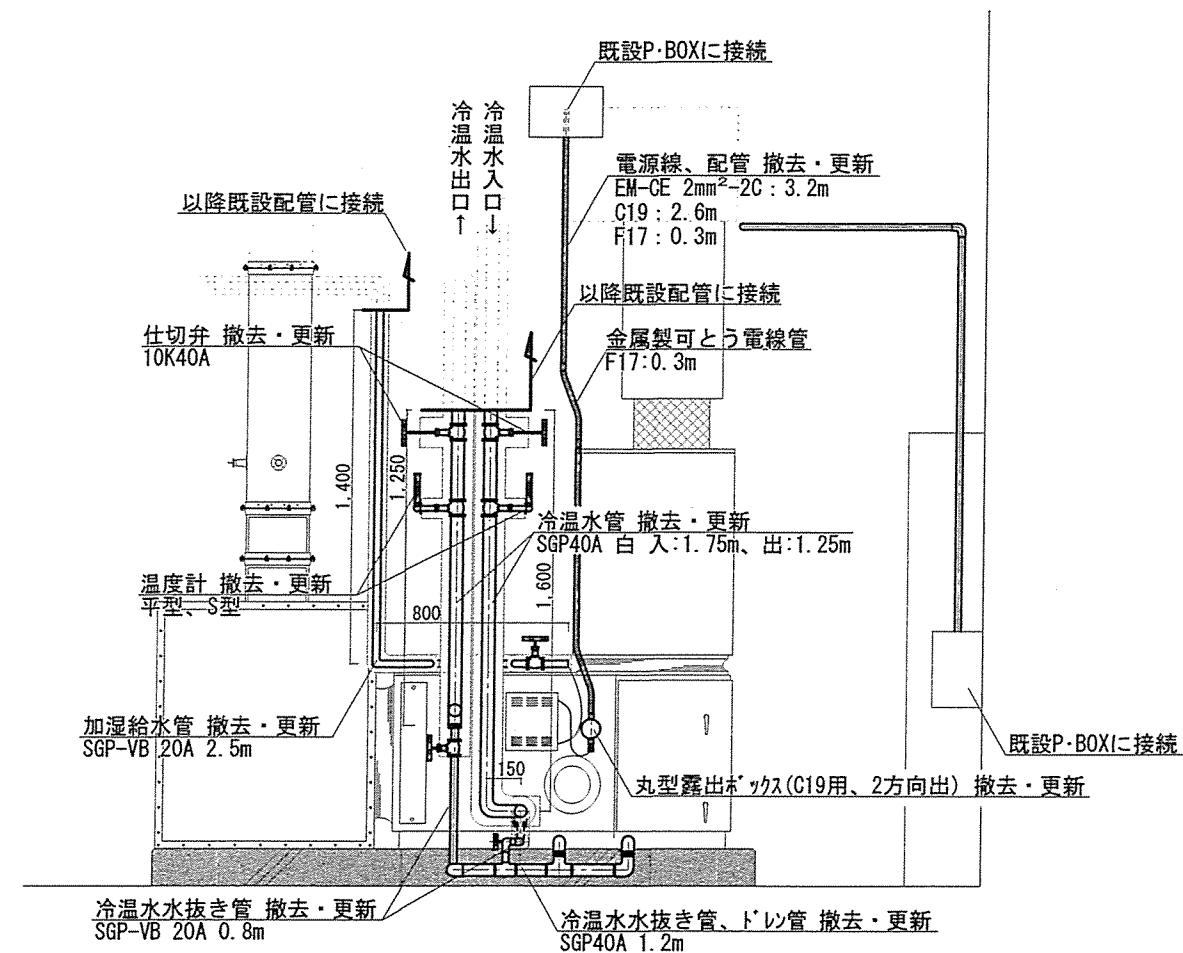
部 品 名	規格・寸法	単 位	数 量
エアハンドリングユニット	既設：日立、AH-K52VS（製造番号：588663） 製造年月：1989年2月 標準風量：2,190m³/h 縦形、多翼送風機（シロッコ） 新設：CV-030EX（参考品番） 2,190m³/h 294Pa 1.5kw 3φ200V	台	1
消音チャンバーボックス	W1,070×D800×H900 （内貼保温種別：M・(□)・IX） 点検口：W450×D550程度	台	1
長方形ダクト	コーナーボルト工法、400×250 板厚0.5mm （保温種別：I・(□)・XI） ※OAダクトは保温不要	m²	2.2
たわみ継手		個	1
風量調節ダンパー	W400×D250	個	1
モーターダンパー	W400×D250	個	1
ダンパー操作器		個	1
風量測定口		個	4



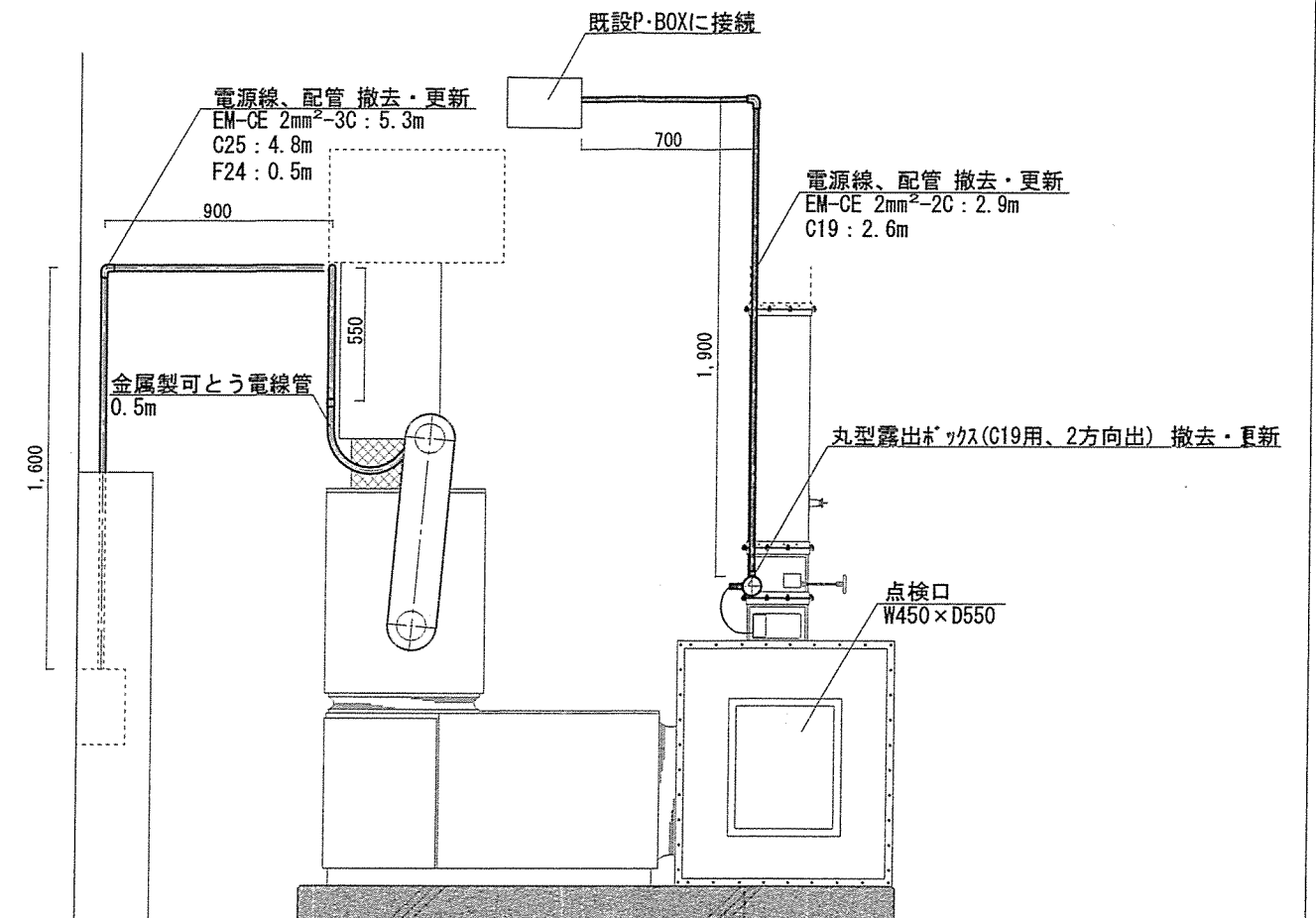
A-A' 立面図 S=1/30

※1 配管接続部（フランジ等）でアスベスト含有が判明した場合、接続部を避けて切断し、新たにフランジを設け、既設と接続すること。

件 名	131号建物他空調機等更新工事	図 番	5 / 8
図 名	平面図、立面図	縮 尺	図 示



A-A' 立面図



B-B' 立面図

交換機器・部品一覧

部 品 名	規格・寸法	単 位	数 量
仕切弁	10K40Aねじ込み	個	2
	10K20Aねじ込み	個	3
温度計	平型 S型 0～100℃	個	2
冷温水管等	SGP40A 白 (冷温水管、ドレン管、水抜き管)	m	4.2
	保温種別: B・(□)・Ⅲ (※保温は冷温水管のみ)		
	SGP-VB20A (加湿給水管、水抜き管)	m	3.3
電源線	600V EM-CE 2mm ² -2C	m	6.1
	600V EM-CE 2mm ² -3C	m	5.3
薄鋼電線管	C19	m	5.2
	C25	m	4.8
金属製可とう電線管	F17	m	0.3
	F24	m	0.5
丸形露出ボックス	C19用、2方向出	個	2

注記事項

接続部分以外の既設配管は再使用すること。
 工事着工前に現地をよく調査の上施工を行うこと。
 図面より現地の取り合いを優先すること。

件 名	131号建物他空調機等更新工事	図 番	6 / 8
図 名	立面図	縮 尺	1 / 30

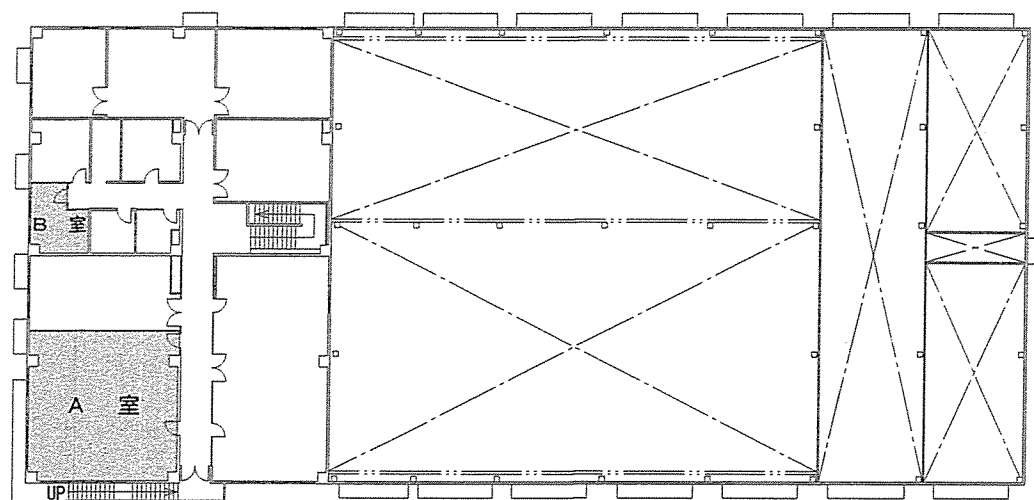
撤去機器表

機器番号	機器名称	仕様・付属品	電気仕様	数量
ACP-2	マルチパッケージ形空調機	形式：室外機（冷媒：R22） 日立 RAS-J450FS1（防振架台含む） 冷房能力：45.0kw 暖房能力：50.0kw 機器重量：465kg	3Φ200V	1
ACP-2-1	マルチパッケージ形空調機	形式：天井カセット形室内機（4方向吹出） 日立 RCI-J36K2 冷房能力：3.6kw 暖房能力：4.0kw	1Φ200V	1
ACP-2-2	マルチパッケージ形空調機	形式：天井カセット形室内機（4方向吹出） 日立 RCI-J80K2 冷房能力：8.0kw 暖房能力：9.0kw	1Φ200V	4
運転リモコン		日立 PC-PIH		3

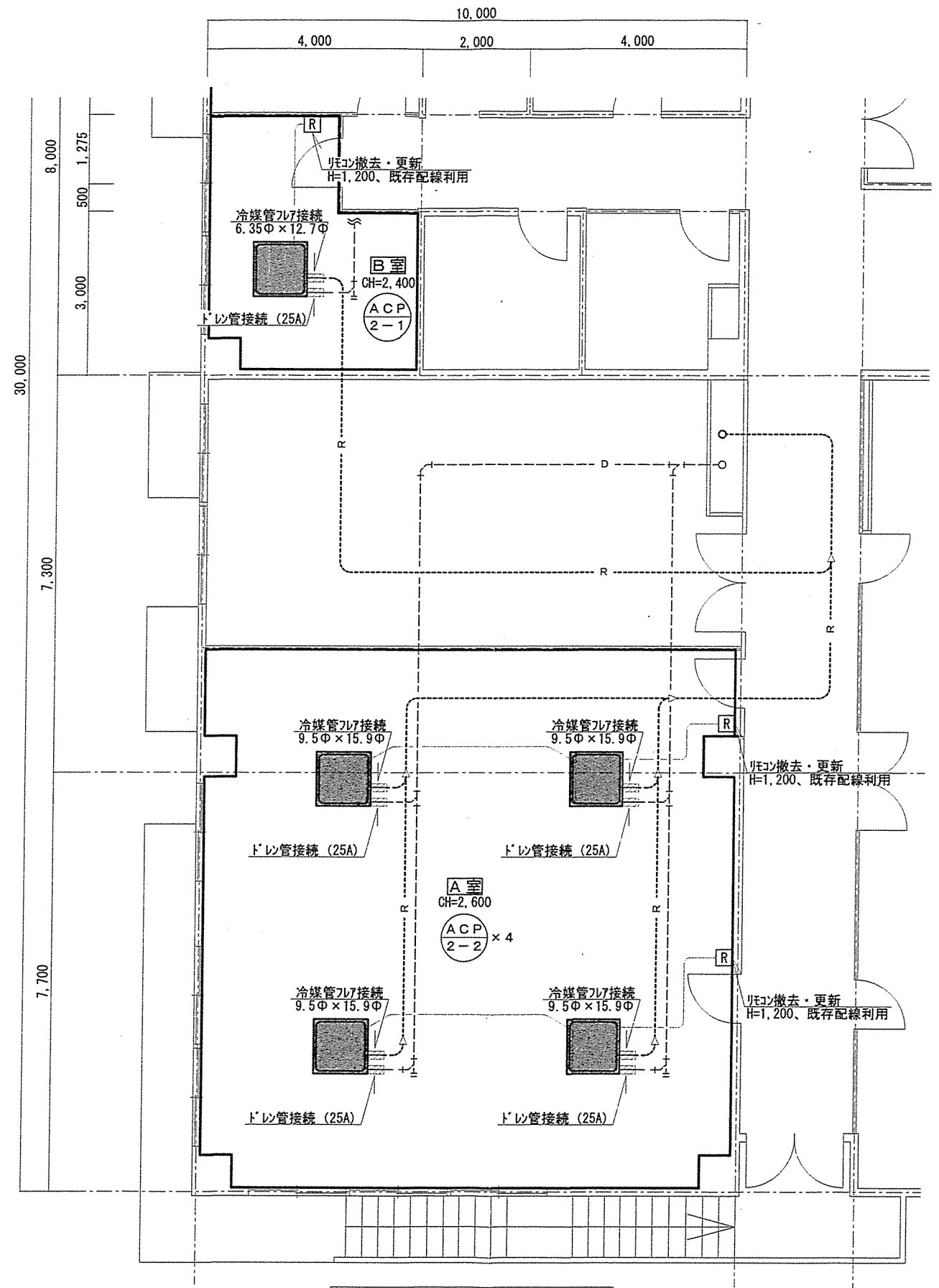
新設機器表

機器番号	機器名称	仕様・付属品	電気仕様	数量
ACP-2	マルチパッケージ形空調機	形式：室外機、保護網付（冷媒：R410A） 冷房能力：45.0kw 暖房能力：50.0kw 参考品番：日立 RAS-AP450SSR 機器重量：308kg 防振架台（日立 QDJ-B1215C）含む	3Φ200V	1
ACP-2-1	マルチパッケージ形空調機	形式：天井カセット形室内機（4方向吹出）、標準パネル 冷房能力：3.6kw 暖房能力：4.0kw 参考品番：日立 RCI-GP36K3	1Φ200V	1
ACP-2-2	マルチパッケージ形空調機	形式：天井カセット形室内機（4方向吹出）、標準パネル 冷房能力：8.0kw 暖房能力：9.0kw 参考品番：日立 RCI-GP80K3	1Φ200V	4
運転リモコン		参考品番：日立 PC-ARF62		3

冷媒充填 1式、試運転調整 1式、機器撤去新設時の切回し配管等、消耗品雑材料含む



1号建物2階平面図 S=1/500



1号建物2階平面詳細図 S=1/100

注記事項

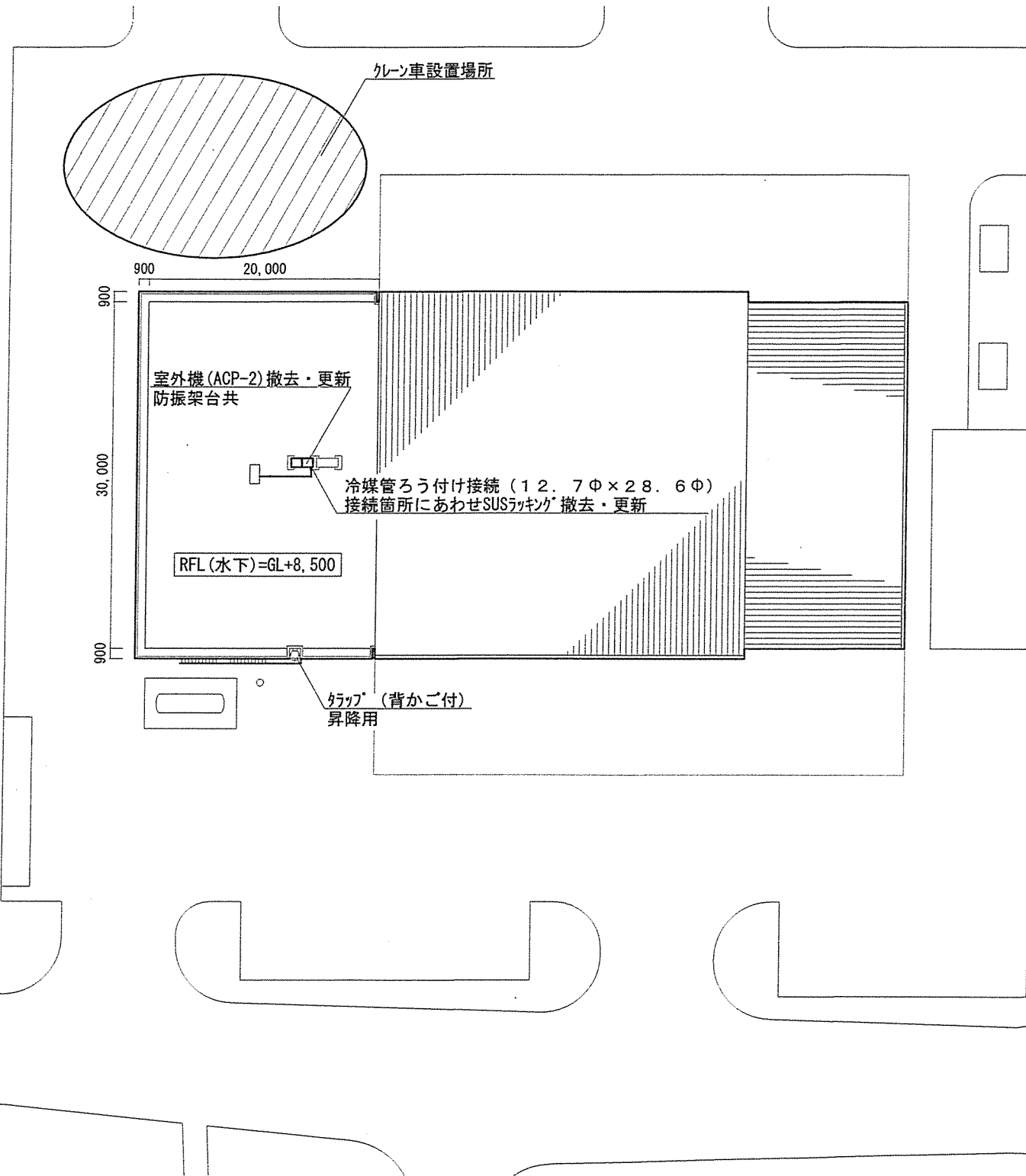
接続部分以外の既設配管は再使用すること。

必要に応じボード・軽量下地材・補強材等の復旧を行うこと。

電気配線は既設のものを再使用すること。

工事着工前に現地をよく調査の上施工を行うこと。

件名	131号建物他空調機更新工事	図番	7 / 8
図名	機器表、1号2階平面図、平面詳細図	縮尺	図示



1号建物R階配置平面図 S=1/500

注記事項

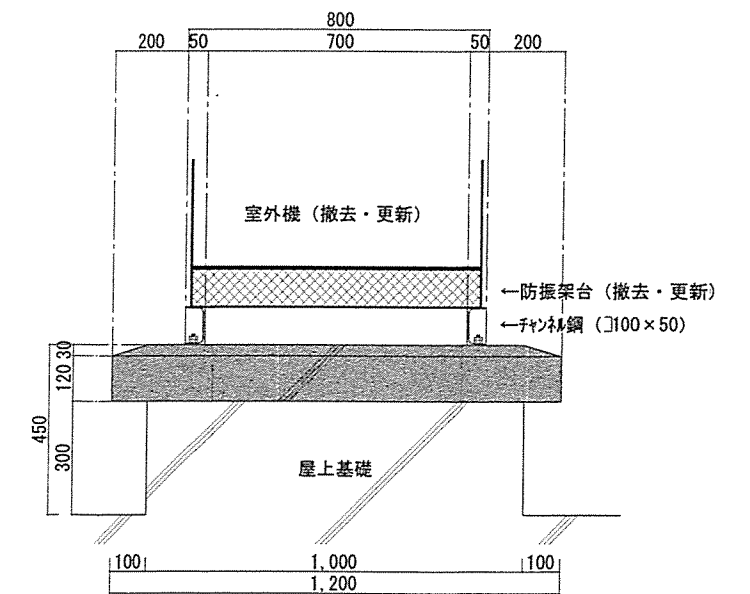
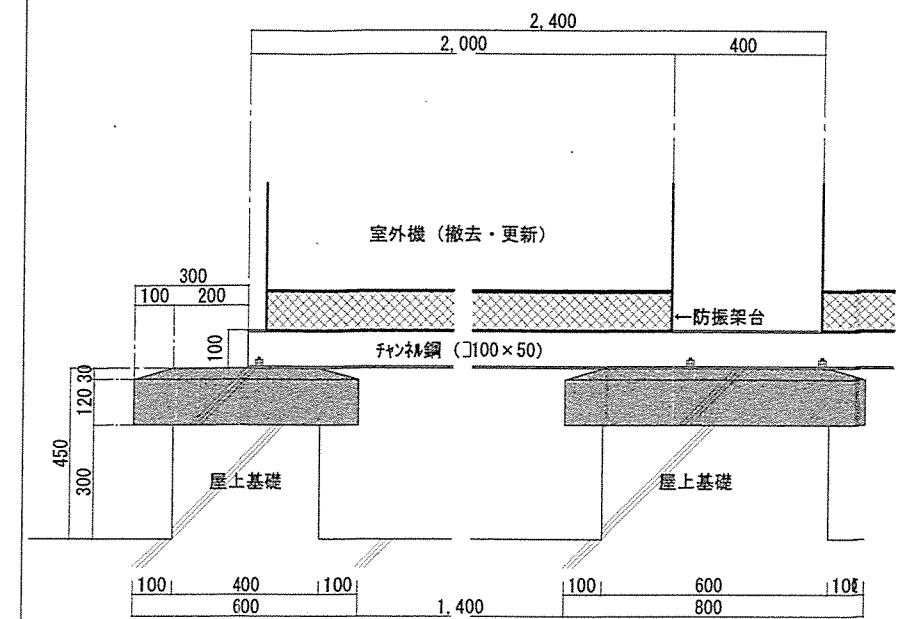
接続部分以外の既設配管は再使用すること。

必要に応じ冷媒を追加充填すること。

電気配線は既設のものを再使用すること。

工事着工前に現地をよく調査の上施工を行うこと。

空調機の撤去・据付は、ラフテレーンクレーン（16t）を使用すること。設置場所は平面図参照。細部は監督官との調整による。



屋上機械基礎廻り詳細図 S=1/20

件名	131号建物他空調機更新工事	図番	8 / 8
図名	1号R階平面図、基礎廻り詳細図	縮尺	図示